

令和7年度 第3回四万十市まち・ひと・しごと創生会議 議事概要

- 日 時 令和8年3月26日（木）14：00～15：50
- 場 所 四万十市役所本庁舎3階 防災対策室
- 出席者 委員13名のうち出席10名  
推進本部員15名、事務局2名 ※別紙：出席者名簿添付

○配布資料

会議次第

- 【資料1】四万十市まち・ひと・しごと創生会議資料
- 【資料2】四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理シート
- 【資料3】四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 一覧
- 【資料4】第3期四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）  
（参考1）委員名簿

<結果概要>

1 開会

- ・会議成立報告

2 会長及び副会長の選任

- ・事務局から会長に岡村委員、副会長に右城委員を提案し、承認される

3 令和6年度会議の振り返り

- ・事務局説明

前回の創生会議で提出された主な意見等について説明

質疑 特になし

4 議事

（1）四万十市の人口及び産業状況等について

- ・事務局より説明

質疑 特になし

(2) 第2期総合戦略の進捗状況について

- ・基本目標1について事務局より説明

質疑

委員：

テキストベースだけではなく、情報が入りやすいような見せ方を工夫し、目で見ても分かりやすいものがないと参画意識を持つのは難しいのではないか。

事務局：

概要版などの作成を検討しており、分かりやすいものになるようにしていく。

委員：

しまんと海藻エコイノベーションについて、令和8年度の取り組みについて具体的に教えてください。

事務局：

今年度国の機関のほうで本格型に移行する申請をしていたが、かなわなかった。ただ、蓄積してきた内容について、国の財源の活用も考えつつ継続して実施していきたいと考えている。

委員：

農業部門で維持・強化について、今の位置づけというのは生産量の確保がどんどん伸びていくところなのか、生産量の確保が難しく伸びしろがない分野もあるかと思う。四万十農法米含めて、一番伸びていけるようなところなど現状を確認させてください。

農林水産課：

栽培が容易ということで、果樹ぶしゅかんを植えて栽培してもらっている。実績では令和7年度は17.7ha程度、5年後におよそ補助金ベースで考えると24ha程度に展開していけるのではないかと考えている。荒廃農地をと考えているので、普及については栽培者さえ確保できていれば問題ないと思う。

四万十農法米については今20ha栽培面積あるが、特別栽培米ということで生産者が限られてはいる。作っていききたいという農家はいくつかあるが、栽培と、出口戦略で詰まっており、JAと協力しながら出口戦略を見据えて面積も徐々に増やして、普及していききたいと考えている。

・基本目標 2・3・4 について事務局より説明

質疑

委員：

8 頁のしまんと暮らし体験利用補助の内容と、参加状況はどうか。9 頁の出会いのきっかけ応援事業について、エリアごとで違いがあるのか、年齢層はどうか。10 頁の大川筋地域のその後はどうなるのか。

企画広報課：

しまんと暮らし体験事業については、体験中に住んでいただく市長公舎の修繕などに時間を要したため、募集開始が 2 月となり実績はまだない。問い合わせが 1 件あり、4 月より体験開始予定。

子育て支援課：

出会いのきっかけ応援事業の年内成立は 14 組でどこの地域がという区分は整理できていない。対象になるのは市内に在住している方、もしくは市内に働きに来ている市外の方、市外に住んでいて市外で働いている人でも後に四万十市に来て暮らすことを想定できる方などを対象にしている。14 組のうち 12 組について、どこの地域の方かというのは補足しておりまして、どこかの集落が特にマッチングが多い傾向があるといった特徴的な情報は把握していない。

事務局：

大川筋地域集落活動センターについては地域の方にお集まりいただき設置に向けた協議を実施していたが、設置後の運営体制の構築等諸課題の解決に至らず、今年度でいったん会議体は解散した。今後については白紙に戻っている。

委員：

特定地域づくり事業協同組合制度に対して、利用したい事業者について、受け入れる側の事業者はどのくらいいるのか。

地域企画課：

組合自体は実際に受け入れをしたいという事業者は 10 社が集まって設立されている。内訳は農

協・畜産・林業・商業・観光・福祉といった方々が組合員となっている。しまんと川来たや協同組合のHPに詳細は記載されている。

・地方創生交付金を活用した取り組みについて事務局より説明

質疑

委員：

イノベーションセンターの取り組みについて、四万十市に限らず、全国の地方の中小企業に言えるが、外部環境が大きく変わってきている中で経営自体の在り方を変えなければいけないという現状をまだ認識ができていない。競合他社との競争や、人の移動がないので変化に気づいていない。今のままでは駄目なんだという意識改革を促進する必要がある、経営者が未来を良くするとか経営を良くするという意識を持たない限り、センターが目指している四万十市の未来を創るということは実現しない。来年度は機会を定期的に開催して、四万十市内もしくは幡多地区の経営者の皆さんに意識変化の啓もうの機会を増やしていきたい。そのうえで課題が顕在化した時にマッチングするという、一段回手前のところに力を入れていきたいと考えている。

(3) 第3期四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

・事務局より説明

質疑

委員：

子どもたちが将来働きたいと思えるような場所になるように、今回の目標を達成できるようにしっかり取り組んでもらいたい。

委員：

思いを持って目標を決めており、とても分かりやすくなっていると感じた。目標が仮に達成できなくなったとしても、関係者と目標を決めて一緒に進めていくという姿勢をどう見せていくかが大事。

委員：

計画に書かれているように、子育て世帯が暮らしやすいと思えるように力を入れて取り組んでもらいたい。

委員：

基本目標1の観光分野で宿泊者数や幡多地域の観光消費額が明確に設定されており素晴らしい。四万十市において観光は人口減少や県外の方々に知ってもらうこと含めて重要な分野だと思う。目標をクリアできるように取り組んでもらいたい。

委員：

若い世代で働こうという人が少なくなっており、危機感を感じている。また、国ではDXなど推進しているが、中委員からもあったように従業員に対して戦略的に進めていく必要があると思う。

委員：

ここ数年で子育てしやすい場所になったし、子育て支援の団体同士での交流もできるようになったと実感している。移住されてきた方がいることで、地元の方が改めて四万十市の良さに気づくきっかけにもなっている。四万十市はとてもコンパクトで住みやすい場所で、今後も盛り上げていきたい。

委員：

民間を巻き込みながら目標達成に向けて取り組んでもらいたい。

委員：

目標を達成するためには、月次で目標の進捗状況を分析していく必要があると思う。企業と連携をどうやってしていくかまで落とし込まないと目標達成はできない。移住や企業誘致については他市町村との差別化がイメージしにくい、分かりやすくしていく必要があるのではないかな。

委員：

人口減少していく中で今は投資をまんべんなくしていると思うが、今後それはできなくなってくると思う。市として力を入れるところを決めて集中投資するなど、早めにそういう計画なり方向性数年でやって、人口が減り切る前に移行できるようにしていただきたい。

企画広報課：

今後は官民連携というものを国は前面に打ち出しており、企業との連携や市民の方に参画していただく意識向上も必要だと思う。しっかり意識してやっていきたい。また、子どもたちが県外に出たとしても、将来帰ってくるように意識して取り組んでいきたい。目標達成のために、しっかりPDCA

を回して進捗管理を行っていきたい。市民の行動を変容する、プロモーションやブランディングといったことも来年新規事業として予算化して取り組んでいく。観光分野については、交流人口の増加にも意識して進めていく。政策推進でも選択し集中して取り組み、財政的にも力を入れていくことも盛り込んでいるのでお知りおきいただければと思う。

## 5 その他

- ・事務局より今年度で異動になる委員の報告

## 6 閉会 15:50

別紙

令和7年度 第3回四万十市まち・ひと・しごと創生会議 出席委員名簿

◎：会長、○：副会長

分野	所属	役職	氏名	備考
産業界	中村商工会議所	副会頭	○ 右城 一仁	
産業界	西土佐商工会	青年部部长	中脇 夢之進	
産業界	四万十市観光協会	副会長	渡邊 亨	
行政機関	高知県産業振興推進部	地域産業振興監 (幡多地域担当)	岡田 哲也	
行政機関	幡多福祉保健所地域支援室	地域支援室長	芝岡 美枝	
大学	国立大学法人 高知大学 次世代地域創造センター	准教授・UBC (地域コーディネータ)	◎ 岡村 健志	〈欠席〉
教育機関	四万十市教育研究所	所長	藤原 昭彦	〈欠席〉
金融機関	四万十市金融協会	会長	市川 普久	
労働関係	四万十公共職業安定所	所長	吉井 典之	
その他	子育て応援団 「ほっと・ポケット」	会長	宮本 ルミ	〈欠席〉
その他	NPO 法人スマイルはたっこ	理事長	久保 美保	
その他	地域移住サポーター		須山 美樹	
その他	株式会社フォーバル (四万十市派遣)	CIO 補佐官	中 洋介	

令和7年度 第3回四万十市まち・ひと・しごと創生会議推進本部 出席者名簿  
 〈本部長〉

職	氏名	備考
西土佐総合支所長兼地域企画課長	佐川 徳和	
地震防災課長	安岡 栄治	
企画広報課長	武田 安仁	事務局長
健康推進課長	竹本 美佳	
子育て支援課長	中脇 弘樹	
高齢者支援課長	西内 美和	〈代理出席〉
観光商工課長	遠近 由幸	
農林水産課長	宮崎 智也	〈代理出席〉
まちづくり課長	津野 智宏	
上下水道課長	岡村 速人	
福祉事務所長	渡辺 和博	
生涯学習課長	戸田 裕介	
産業建設課長	竹本 志郎	
副参事（デジタル化推進担当）	田中 邦典	
副参事（食肉センター整備推進担当）	宮崎 勝也	

〈事務局〉

企画広報課長補佐	宇都宮 朋彦	
企画調整係長	田中 佑典	